対

【3年】

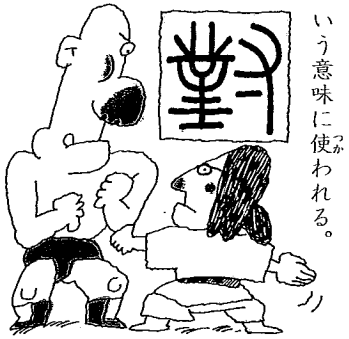
7画

一 ナ 文 文 対 対（はねる）

おん タイ・ツイ

くん

なりたち 旧字体は對で、楽器の鐘を掛ける板の形を表した𡴀と手の意味の寸との会意字。これは二つで組になっているので〝二つ一組〟という意味を表したもの。〝つい〟。また、〝向かい合う・相手になる〟という意味に使われる。



いみとじゅくご

▼つい。二つで一組になるもの。

対句…意味が関連し合い、構成がつり合った文句を二つ並べたもの。例えば「知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ。」

▼向かい合う。相手になる。

対立…二者が互いに反発しあって張り合うこと。

対抗…互いに張り合って争うこと。例対抗試合

対話…向かい合って話すこと。

対面…顔を向かい合わせること。また、会うこと。

対照…❶互いに比べ合わせること。❷比べ合わせた結果が正反対なこと。用例対照的な性格。

▼こたえる。

応対…相手に対して受けこたえをすること。

耐

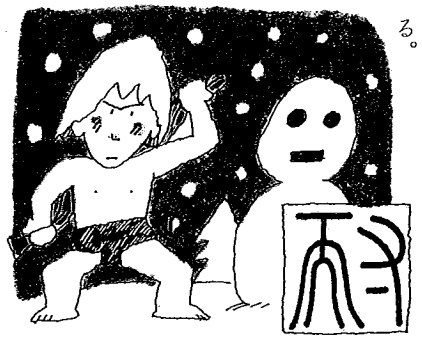
9画

一 丆 丙 而 而 耐 耐（はねる）

おん タイ

くん たえる

なりたち あごひげの形を表した而と、手の意味の寸との会意形声字。ひげを刈り取る軽い刑罰を表した字。〝ひげそりの刑〟。よくたえられる刑なので、〝たえる〟意味に使われる。



いみとじゅくご

▼たえる。我慢する。

忍耐…我慢すること。用例忍耐力を養う。

耐乏…貧乏に耐えること。例耐乏生活

耐寒…寒さに耐えること。例耐寒訓練

耐熱…❶暑さに耐えること。耐暑。❷高熱を受けても変質しないこと。例耐熱食器

▼もちこたえる。

耐久…長い間もちこたえること。例耐久レース

耐火…火にあっても燃えにくいこと。例耐火建築

耐震…地震にあっても壊れにくいこと。例耐震構造

耐水…水にぬれても変質したり、裏までしみ通ったりしないこと。例耐水加工

耐性…病原菌などが、ある薬に対して強いこと。

寺

【2年】

6画

一 十 土 土 寺 寺（ながく）

おん ジ

くん てら

なりたち 止の変形した土と、基準の意味の寸との会意形声字。基準の止（とど）まる所〝役所〟を表した字。仏教が中国に伝わった時、白馬寺という役所が僧院になり〝おてら〟の意味になった。

いみとじゅくご

▼てら。

寺院…てら。仏像をまつり、僧が修業をする所。

寺社…寺院と神社。社寺。

国分寺…奈良（なら）時代、国ごとに建てられた寺。

南蛮寺…中世日本でのキリスト教会の呼び名。

よみかた 寺子屋・尼寺・仏寺・末寺・山寺

時

【2年】

10画

一 ⺆ 日 日 旺 時 時（ながく）

おん ジ

くん とき

なりたち 日と寺との会意形声字。昔は、太陽の動きを基準として〝とき〟を計った。日の出を明け六つ、日の入りを暮れ六つと名づけ、昼と夜をそれぞれ六刻に分け、その時刻ごとに寺では鐘をついてそれを知らせた。

いみとじゅくご

▼とき。

時刻…時の流れの中のある一点。用例集合時刻を三時に決める。

時間…❶時刻と時刻の間。用例家からここまで一時間かかった。❷時の流れ。❸時刻。

寸時…ほんのちょっとの時間。用例寸時を惜しむ。

▼世。代。長い年月。

時代…❶ある基準によって区切られた、ある程度以上の長さの期間。例明治時代・少年時代・宇宙時代❷その当時。用例時代の先駆者。❸長い年月を経ていること。用例時代物の時計。

よみかた 時価・時機・時限・時候・時差・時流・時折

さんこう 特別なよみかた→時雨・時計。